

水道事業の沿革 昭和4年から昭和35年まで

年	月	事項
昭和4年（1929年）	2月	水道事業認可を受ける。
	5月	起工式
昭和5年（1930年）	7月	水道料金決定（口径13ミリ：10立方メートルまで1円20銭）
	11月	竣工式（昭5.10完成、酒田上水道の創設）
昭和8年（1933年）	4月	市制施行。酒田市上水道となる。
昭和16年（1941年）	4月	酒田市が飽海郡西平田村を合併する。
昭和23年（1948年）	11月	酒田市上水道第1次拡張工事着工
昭和24年（1949年）	3月	酒田市上水道第1次拡張工事竣工
昭和25年（1950年）	4月	酒田市が飽海郡飛島村を合併する。
	10月	熊手島簡易水道給水開始
昭和26年（1951年）	4月	酒田市上水道第2次拡張工事着工
	8月	茨野新田、小牧新田簡易水道給水開始
昭和28年（1953年）	3月	酒田市上水道第2次拡張工事及び配水管延長工事竣工（昭27認可）
昭和29年（1954年）	4月	酒田市上水道第3次拡張工事着工
	8月	酒田市が飽海郡西荒瀬村を合併する。
		南平田村、田沢村、北俣村が合併し、平田村となる。
	10月	一条村、観音寺村、大沢村、日向村が合併し、八幡町となる。
松嶺地区町営水道創設		
昭和30年（1955年）	12月	酒田市が近隣9ヶ村（飽海郡東平田村、北平田村、中平田村、上田村、本楯村、南遊佐村、東田川郡新堀村、広野村、西田川郡袖浦村）を合併する。人口が93,719人となる。
	1月	松嶺町、内郷村、上郷村が合併し、松山町となる。
昭和31年（1956年）	4月	鳥海上水道水源工事着工
	10月	平田村上水道創設工事着工
	5月	平田村上水道創設工事竣工
昭和33年（1958年）	8月	新堀簡易水道竣工（昭29.11認可）
	12月	中平田簡易水道竣工（昭31.7認可）
		酒田市上水道が地方公営企業法の会計適用を受ける。
昭和34年（1959年）	5月	内郷地区簡易水道給水開始
	6月	鳥海上水道竣工（昭29.9認可）
	9月	荒興野地区簡易水道創設
	10月	飛島簡易水道着工
西荒瀬簡易水道竣工（昭33.6認可）		
昭和35年（1960年）	1月	成沢地区簡易水道創設
	3月	広野簡易水道竣工（昭32.10認可）
	4月	飛島簡易水道竣工（昭33.9認可）
昭和35年（1960年）	3月	平田村上水道第1次拡張工事着工
		平田村上水道第1次拡張工事竣工
	4月	鳥海上水道事業を酒田市水道事業に繰り入れる。
	7月	新堀、広野、西荒瀬簡易水道事業を酒田市水道事業に繰り入れる。
		酒田市上水道第3次拡張工事竣工
10月	酒田市上水道創設30周年記念式典	
12月	黒森簡易水道竣工（昭35.7認可）	